



つべつ

第105号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和5年10月1日発行
<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

4年ぶりの開催！！ サロン交流会



町内13ヶ所で 「ふれあい・いきいきサロン」活動中

地域の支え合いや多世代交流、介護予防を目的とした「ふれあい・いきいきサロン」事業。各地区のサロン参加者が一同に会す「サロン交流会」を4年ぶりに開催いたしました。今回は総勢100名の参加があり、久しぶりに顔を合わせる方も。北見市よりピアニストの西尾朋子さんをお招きし、演奏やうた、踊りなど和やかな時間を過ごすことができました。お持ち帰りの昼食を日赤奉仕団のみなさんにご用意いただき、おなかも満たされ元気いっぱいです。

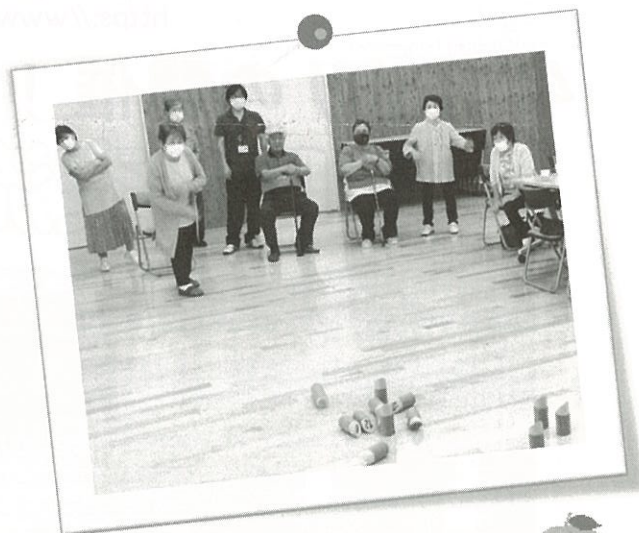
 この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

認知症の人に やさしい津別町に。

ちょこっと茶屋の開催

開催日 令和5年7月19日（水）
 時間 14:00 ～ 15:45
 場所 役場 健診センター
 参加者 6名
 スタッフ 7名

みんなで「モルック」を楽しみました。



認知症のことを身近に知っていただくために、10/1 ～ 10/31 の間
 役場庁舎 社協カウンター前あたりに

みんな、見に来てね！

認知症の本 特集コーナー

を設けます。

※月曜日～金曜日 の 8:30 から 17:15（土、日、祝日休み）

～ 今後の活動予定 ～

- ・ちょこっと茶屋の開催 （11月、2月予定）
- ・介護する家族の交流会 不定期開催
- ・ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練（10月予定）
- ・認知症サポーター養成研修（要望があれば都度開催）
- ・認知症サポーターステップアップ講座

問合せ先

津別町社会福祉協議会 担当 認知症地域支援推進員 山口・門脇
 TEL 0152-76-1161 ・ FAX 0152-75-5043

【 津別町共同募金委員会からのお知らせ 】

10月1日より「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。赤い羽根募金は、様々な地域の課題解決を応援するために、町民の思いやりを届ける「じぶんの町を良くするしくみ」です。

実施期間 10月1日 ～ 12月25日まで

募金運動期間中は社会福祉協議会の窓口、ちゃのまや ランプの宿、さんさん館、キノスに募金箱を設置していますので、ご協力お願いいたします。

今年度も皆さまの温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。皆様からお寄せいただく募金が、福祉団体の活動を支える資金となっています。



©2023 映画プリキュアオールスターズF製作委員会

赤い羽根共同募金

募金いただいた方に、
募金グッズ（クリアファイル、ピンバッジ等）
を提供します。

300 円以上の募金で
クリアファイル



500 円以上の募金で
ピンバッジ



まる太くんピンバッジ

年賀状(喪中はがき)の宛名書き承ります。

- 申込期間：令和5年10月1日～令和5年12月23日まで
- 宛名はボールペンで手書きします。
- 1枚につき60円の募金をお願いします。
- 募金は、津別町の福祉サービスに使わせて頂きます。



津別小
2年生

社協あぐりで ジャガイモほり体験をしました



今年5月に津別小学校2年生の生活科「やさいをそだてる」の授業で、社協あぐりのボランティアが「野菜づくりの名人」として先生をしたこともあり、今回は社協あぐりのジャガイモほり体験にお誘いしました。

当初の予定だった8月24日は朝から雨が降り延期。8月30日は朝から晴れて、絶好のジャガイモほり日和となりました。社協あぐりの「いもほり名人」のボランティア6名にも協力をしてもらい、子ども達と一緒にジャガイモほりをしました。

最初子ども達は、どこにジャガイモがあるかわからず、「いもほり名人」にジャガイモの場所を教えてもらい掘っていましたが、時間がたつにつれ「ここにあるよ!!」と、自分の手のよりも大きいじゃがいもを苦労して掘り出し「こんなに大きい!」「こっちの方が大きいよ!!」と大歓声の中、コンテナ5つ分のじゃがいもを収穫しました。



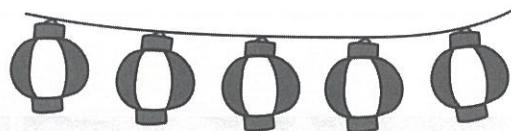
収穫後は、ボランティアさんと一緒にじゃがいもの他、社協あぐりで収穫した枝豆とトウモロコシも試食しました。

今回収穫したたくさんのジャガイモは、特別養護老人ホームいちいの園、グループホームほのぼの、小規模多機能ホーム夢ふうせんのか、学校給食センターに寄贈させていただきました。「いもほり名人」のボランティアさんは子どもたちの元気をたくさんもらったジャガイモほりとなりました。



学校給食センターでは8月31日にの給食「野菜ポトフ」に使ったそうです。2年生のみんなは、自分達が収穫したじゃがいもだと気が付いたかな??

ボランティア大活躍!



津別町デイサービスセンター
夏祭り(8/21~8/25)



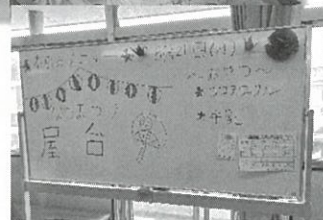
一緒に
わたあめ作り



スマートボール
に挑戦!!



ゲームで交流!
にぎやかです



津別町デイサービスセンター夏祭りのお手伝いに行ってきました。日替わりで10名程のボランティアや民生委員が活躍。とてもいいお天気のなか、屋台での作業、利用者さんとの交流など、楽しく活動できました。ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

ボランティア活動に関心のある方は社会福祉協議会までご連絡ください!!

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

ボランティア
輝く人



活 汲
高 橋 緑さん

「自分は、楽しみはないんですよ。いろんな人に世話になったし、ボランティアの誘いがあって、その人と一緒に始めたのがきっかけでした」と説明してくれましたが、「お年寄りに会うのが楽しみで、元気な顔を見るのが楽しくて給食ボランティアを続けたい」と話され、人との出会いを楽しまれているのを感じました。



旭川出身で、旭川で奥さんと知り合い結婚し、妻の実家の豆腐屋を手伝ってと言われ、商売が好きだったからと活汲にやってきましたそうです。今は、豆腐店は店仕舞し、別の方が引き継いでいます。(まだ豆腐は作れるぞとのことでした。)

亡くなったばあちゃんが花を眺めているのが好きだったからと、今もみんなで花壇の手入れをしているんだそうです。だから、配達しながら、みんなの笑顔がおばあちゃんの笑顔と重なっているのかなとほっこりさせていただきました。

「輝く人」では、社協のボランティアに登録されている方を紹介しています。

津別町老人クラブ連合会

* * 8月24日 意見交流会 * * * * *

この意見交換会は、今年度の定期総会で、「他の老人クラブがどんな活動をしているか知りたい」「年々会員数が減っているのに、連合会として何ができるか考えたい」という意見が会員から出され、初めての開催となりました。

当日は気温が35度を超える中、各クラブの会長、副会長が出席。またアドバイザーとして北海道老人クラブ連合会常務理事・事務局長坂井信氏を迎え行いました。まず各クラブの会長から、現在の活動内容、クラブの強みや課題などを話してもらい、全体で共有をしたあと現在の課題の共有を行いました。

各クラブの共通課題として、会員の高齢化とそれに伴う会員数の減少と老人クラブまでの足の問題というが上りました。

アドバイザーの坂井事務局長からは、会員数の減少は全道の老人クラブが持っている課題だが、津別は道内平均よりも会員率が高いため、今後も元気で参加できるよう、ウォーキングやモルックなどの世代を超えたレクリエーションなどを行うことなどの提案があり、今後の老人クラブの活動を考える参考になりました。



* * * * * 9月20日 網走ブロック研修会 * *

網走地区老人クラブ連合会網走ブロック研修会が、美幌町民会館びほーるで開催されました。新型コロナウイルス感染拡大のため中止されていたため、4年ぶりの開催となり、網走地区の1市6町の老人クラブ会員、関係者が約200名参加しました。

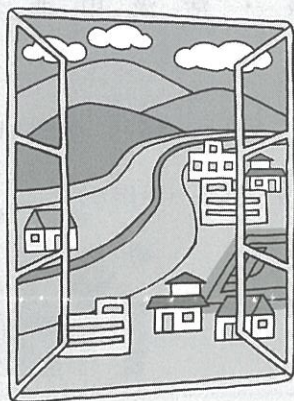
安全講話として、美幌警察署仲町交番巡査部長鳴海琢也氏から、特殊詐欺について、体験発表として、現在美幌町で行っている男談農園の農場長太田博美氏から、農園を使った元気づくり、びほろじ〜・ば〜サークル会長 平田美木男氏からふまねっとなどを活用したサロン活動について話がありました。



その後ふるさと再生塾長小山忠弘氏から「地域活動で健康100歳への挑戦」をテーマに講演をいただきました。講演をいただいたふるさと再生塾長小山忠弘氏からは、「老人」の“老”そして「高齢者」の“高”に変わる漢字の話から、老人クラブという名称の変更の提案、また高齢者の知識が使われる機会がないので、学校など異世代交流を通して、高齢者の知識を伝えていくことについての提案などがあり、アクティブシニアについて考える機会となりました。

心も体も元気になれる、そんな場所をさがそう。

(0152-77-6211)



まともな人が出てこない。

あなたの大切な声を聞かせてほしい…

ひきこもり電話相談

☎ 0152-77-6211 (直通)

まずは話しをすることが最初の一步です



いっぽサポートステーション
(社会福祉法人 津別町社会福祉協議会)



心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和5年6月17日から令和5年9月21日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

共和植松 彰 様 ・ 埼玉県 大森 和雄 様 ・ 豊永國安 幸雄 様
 活汲石井 利雄 様 ・ 北見市 山下 徹 様 ・ 共和山田 はる江 様
 豊永山本 靖博 様 ・ 高台石川 榮子 様 ・ 活汲中西 利美 様
 相生小川 志津男 様

物品寄付

◆共和第2自治会女性部 様 タオル等 ◆津別ライオンズクラブ 様 使用済切手1,479枚
 ◆共和第3自治会女性部 様 タオル一式(約130枚)
 ◆中川 博子 様 アクリルタワシ・保険証入・ポケットティッシュ入(手作り)
 ◆NPO法人 北見歌翔会 様 フェスティバルチケット10枚

指定寄付

◆柏町自治会へ 高台石川 榮子 様
 ◆津別町パークゴルフ協会へ 高台石川 榮子 様



町民の皆様から寄贈いただきました使用済切手4,243gを下記の団体へ寄贈しましたので報告します。

寄贈先

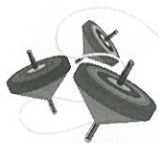
NPO法人 誕生日ありがとう運動本部(兵庫県)

活動内容

誰にでも巡ってくる「誕生日」に着目し、知力ハンディキャップ問題に関する普及啓発等の事業を行ってる団体です。

※今後も継続して使用済切手を集めています。

金銭管理のこと
成年後見のこと など
ご相談下さい。



続・昔のあそび(コマ・めんこ・竹とんぼ) 集めています!!



今年度津別小学校1年生の生活科で、コマやめんこ、おはじきなど、昔の遊びの授業をするにあたり前回の社協だよりで遊び道具の寄付をお願いしたところ、たくさん集まりました。ありがとうございます。ただ、現状ビー玉、おはじきは十分集まりましたが、コマ・めんこ・竹トンボが不足しております。ご自宅に眠っているものがありましたら、寄付をお願いいたします。

社会福祉協議会にお持ちいただくか、お持ちいただくことが難しければこちらから取りに伺います。今年入学した1年生が楽しみにしている授業のため、ぜひご協力をお願いします。

編集 後記

現在、「認知症の人にやさしい津別町に」ということで事業を推進しています。認知症とは誰でもなる可能性がある脳の病気です。決して特別な病気ではありません。身近な人が認知症になったときのために認知症について学べる機会を提供したいと考えています。

(K)